

ご協賛概要

※ご協賛企業として、告知誌面・受賞作品発表誌面
「文藝春秋」9月号(8月10日発売)芥川賞発表号[告知]、
「文藝春秋」2024年1月号(12月8日発売)新年号[受賞作品発表]、
「文春オンライン」「文藝春秋 電子版」に、企業ロゴを掲載させていただきます。

●広告掲載媒体

「文藝春秋」2024年1月号(2023年12月8日発売)

受賞作品発表ページ内にて掲載

純広告が入賞作品の対向ページに掲載させていただきます

＊純広告ご協賛

●ご協賛特別料金

純広告1ページ **280万円**

●原稿サイズ

天地210ミリ×左右144ミリ、
断ち切りサイズ

●原稿締切

2023年11月20日(月)

※制作費(60万円～)で純広告を作成する
ことも可能です。別途ご相談ください。

＊タイアップ広告ご協賛

●ご協賛特別料金

タイアップ2ページ&
「文春オンライン」転載

500万円

タイアップ4ページ&
「文春オンライン」転載

700万円

※タイアップページに関しては弊社にて取材し
ページ制作をさせていただきます

＊動画広告ご協賛

●動画のみご協賛料金

350万円～

●誌面とセットの場合

300万円～

※詳細はお問い合わせ下さい



bunshun.jp/
bungeishunju/
webinar/full

お申し込み締切 2023年6月30日(金)

体裁見本(昨年見本)

純広告ご協賛(1ページ)



タイアップ広告ご協賛(4ページまたは2ページ)



右ページに受賞作品を
左ページに純広告を掲載いたします

お問い合わせ

株式会社 文藝春秋 メディア事業局

〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町3-23

電話 03-3288-6488 メール ad.bungeishunju-g@bunshun.co.jp

<https://www.bunshun.co.jp/ads/>

第2回

文藝春秋

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

SDGsエッセイ大賞

ご協賛のお願い



創刊101周年を迎え、特別広告企画をご提案いたします。



「目覚めよ! 日本」 文藝春秋は、 101年目からも 飛躍し続けます

月刊「文藝春秋」編集長
新谷 学

Shintani Manabu

1989年文藝春秋入社。
「スポーツ・グラフィック ナンバー」編集部、
「週刊文春」編集部、月刊「文藝春秋」編集部などを経て、
2012年4月「週刊文春」編集長、2018年より週刊文春編集局長。
2020年8月より執行役員。
2021年7月より「文藝春秋」編集長に就任（執行役員兼務）。

「文藝春秋」は今からちょうど100年前、作家・菊池寛によって創刊されました。
「私は頼まれて物を云うことに飽いた。自分で、考えていることを、読者や編集者に気兼ねなしに、自由な心持で云って見たい」

菊池寛の「創刊の辞」はこう続きます。

「友人にも私と同感の人々が多いだろう。又、私が知っている若い人達には、物が云いたくて、ウズウズしている人が多い。一には、自分のため、一には他のため、この小雑誌を出すことにした」

ここに出てくる「友人」は芥川龍之介や直木三十五で、「若い人達」は例えば小林秀雄や川端康成です。そうした菊池寛の周囲に集まる文士たちのお陰で、28ページの「小雑誌」は順調に育ち、2023年新年特大号では600ページを遥かに超える雑誌となりました。

私は創刊100周年に際して、「目覚めよ! 日本」というモットーを掲げました。30年あまり、この国は、政治も経済も社会も、時計の針が止まったまま、停滞感が漂っているように思います。

今こそ目を見開いて数々の難題を直視し、本腰を入れて最適な解決策を、国民的な議論をもとに導き出すべきではないか。私はそうした議論のきっかけになる問題提起を、しかも当事者の肉声で行うことこそが、国民雑誌と呼ばれる「文藝春秋」が果たすべき役割だと肝に銘じています。

100年の区切りを越え、新たな年を迎えた「文藝春秋」は、まさに101年目の第二の創刊ともいえるべき時期を迎えています。文藝春秋×noteのこのエッセイコンテストもまた、「物が云いたくて、ウズウズしている」人のための、新たな提案です。

この激動の時代に、閉塞感を取り払い、豊かな未来を切り開くため、「文藝春秋」は日本が目覚めるための発信を今後も続けてまいります。

引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

読者参加型のエッセイコンテスト 文藝春秋×note 文藝春秋SDGs エッセイ大賞を今年度も開催します。



昨年、「文藝春秋」創刊100周年を記念して、「文藝春秋」×「note」によるSDGsエッセイコンテストを実施し、大きな反響を呼びました。「文藝春秋」と「note」。時代は違えど、情報の発信、創作の発展を大事にする両者が組み、持続可能な社会をめざして、#未来のためにできることをテーマに読者とともに考えました。

応募作品はなんと約7900点。
老若男女問わず、多くの方々がSDGsについて考えるきっかけとなり、優秀作品は「文藝春秋」誌上でもご紹介させていただきました。

今年度も第2回文藝春秋SDGsエッセイ大賞を実施いたします。

ぜひ、日本と世界を支える企業の皆様にも、未来を、そしてSDGsについて考えていただき、本企画にご協賛賜りますようよろしくお願い申し上げます。

●募集告知・受賞作品発表媒体

「文藝春秋」9月号(8月10日発売)▶告知

2024年1月号(12月8日発売)

▶受賞作品発表

「文藝春秋 電子版」、「文春オンライン」、
「note」

●コンテストスケジュール

コンテスト募集開始：7月25日～

(「文藝春秋」9月号(8月10日発売)にて掲載)

作品募集期間：7月25日～9月20日

審査期間：9月21日～11月初旬

受賞作品発表：12月8日

(「文藝春秋」2024年1月号発売日)

●審査員

「文藝春秋」編集長 ほか

作家 角田光代氏 などを予定



●昨年度の実施概要

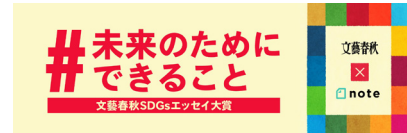
文藝春秋本誌



note.com/contest/
未来のために
できること?!=trend



noteサイト



●昨年度の応募状況

	応募期間	結果発表 1週間後まで
投稿数	8/1～9/20	8/1～12/15
投稿者数	7,928	—
総PV数	3,763	—
総PV数	548,313	736,477
総スキ数	119,742	140,953
総ツイート数	4,221	4,914
総文字数	11,368,365	—
読了時間	15,327	19,210

noteコンテスト企画の中でも多くの反響をいただきました



●昨年度の協賛企業

鹿島建設 サッポロビール GMOインターネットグループ
清水建設 住友不動産 大日本印刷 宝酒造 竹中工務店
東京海上日動 凸版印刷 野村ホールディングス 丸紅
みずほフィナンシャルグループ 三井住友海上
三井住友フィナンシャルグループ 三菱商事
三菱UFJフィナンシャル・グループ 三菱UFJ国際投信